

# 大阪大学北米拠点のミッションについて



海外交流

田谷正仁\*

Missions Assigned to Osaka University North American Center

Key Words : North American center, Mission assignments, Global knowledge partners

## 1. はじめに

2019年4月より、長谷川和彦先生の後任として、大阪大学北米拠点長(6代目)を務めております。前任の長谷川先生までは、拠点長は原則としてアメリカ現地(サンフランシスコ)に常駐し、拠点運営や拠点活動に携わって来ました。しかし、2019年4月からは、4つの拠点(北米拠点、欧州拠点、ASEAN拠点、東アジア拠点)の拠点長全員が大阪大学キャンパス内に留まり、必要に応じて出張して活動を展開する形態をとっています。このような活動形態としたことの趣旨や目的に対する私なりの理解とそれに沿った活動の一端を以下に紹介させていただきます。

## 2. 海外拠点のミッションステートメント

私が北米拠点長を拝命した際に大阪大学グローバルイニシアティブ・センターの海外拠点部門長からいただいた「海外拠点のミッションステートメント」には、主に以下のような内容が記されていました。

「海外拠点は、学内各部局と連携して本学における国際協働の強化を支援する。特に、学生交流および国際協働研究を促進すべく、学内の関係部局と連携して、以下に掲げる活動を遂行する。

(1) 学生交流(留学生の獲得と本学学生の海外派遣)の促進に係る活動

- ・グローバルナレッジパートナー等との学生交流の積極的推進
- ・地域性を考慮した戦略的アプローチ, など
- (2) 国際協働研究の促進に係る活動
  - ・最新の研究内容・成果の定期的紹介による新たな研究パートナーの開拓
  - ・グローバルナレッジパートナー等を対象とした研究情報の収集と本学へのフィードバック
  - ・国際産学連携に向けた新たなパートナーの開拓と活動支援, など
- (3) 国際広報に係る活動
  - ・国際戦略部門との連携による国際広報戦略の実施
  - ・グローバルナレッジパートナー等を対象とした広報活動の推進, など
- (4) 交流ネットワーク構築に係る活動
  - ・グローバルナレッジパートナー等との実質的な連携強化
  - ・新たな連携パートナーの開拓
- (5) その他
  - ・現地の教育・研究動向に係る情報収集と本学関連部局へのフィードバック
  - ・各拠点の取り組みに係る学内外での可視化, など

このミッションステートメントの中で、私は2つの重要なキーワードを見出しました。すなわち、「学内の関係部局と連携」および「グローバルナレッジパートナー」です。前者の関係部局およびそこに所属する教職員の方々との連携こそ、拠点長が大学キャンパスをベースに活動することになった主たる目的であろうと思われまます。このため、学内の先生方の教育研究活動に関する情報を広く収集し、国際戦略部門と連携してできる限り直接面談して意見交換することを心掛けてきました。一方、後者のグロー



\* Masahito TAYA

1953年5月生まれ  
名古屋大学大学院 農学研究科 博士課程(後期課程)(1981年)  
現在、大阪大学  
グローバルイニシアティブ・センター  
北米拠点長/センター長補佐  
農学博士 生物化学工学  
TEL: 06-6210-8256  
FAX: 06-6879-7106  
E-mail: taya@cgin.osaka-u.ac.jp

バルナレッジパートナーに関しては、大阪大学は、OU Vision 2021の「Open Community」の考えのもと、お互いに理念を共有し人類が抱える社会課題の解決に向けて連携できるパートナー校を定めています<sup>1,2)</sup>。北米ではUniversity of Californiaの各校（UC San Diegoなど）が候補大学としてノミネートされています。

### 3. 2019年度の主な活動内容

2019年4月に拠点長に就任以来、先に述べたミッションステートメント（大学の方針）に沿うべく、

私なりに工夫しながら種々の活動を行ってきました。主なものを紹介させていただきます。

○2019年4月～7月

・前期遠隔講義（表1）：新入生を中心とした受講生を対象に、主にサンフランシスコ近郊で活躍されている方々を講師にお招きし、「世界は今」と題して、日本とアメリカにおける教育・文化の違いやグローバルな社会で活躍するために大学で学んでおくべきことなど、多方面からのメッセージを届けていただくことを主眼としています。講義は基本的にアメリカの拠点オフィスからインターネット回線を

表1 2019年度遠隔講義の授業スケジュール

前期遠隔講義		後期遠隔講義	
月日	講師	月日	講師
4/12	ガイダンス	10/2	ガイダンス
4/19	久保由美, Spectrum Vision Global	10/9	Michael J. Sadowsky, Univ. of Minnesota
4/26	宇山友哉, 在サンフランシスコ日本国総領事館総領事	10/16	Steven Vogel, UC Berkeley
5/10	Emily Murase, SF Dept. on Status of Women	10/23	Brian Higgins, UC Davis
5/17	小川のぶお, Thermo Fisher Scientific	10/30	Grant Tsuji, UC San Francisco
5/24	川鍋 仁, SunBridge USA	11/6	Masahiko Minami, San Francisco State Univ.
5/31	石川洋人, Takeoff Point	11/13	Raymond L. Rodriguez, UC Davis
6/7	Lecture Review	11/20	Andrej Zwitter, Univ. of Groningen
6/14	堀淵清治, NEW PEOPLE	11/27	Lingyan Shi, UC San Diego
6/21	西村俊彦, Stanford Univ.	12/11	Gary Mukai, Stanford Prog. on International & Cross-Cultural Education
6/28	Benjamin Boas, 作家	12/18	Hiroshi Fukurai, UC Santa Cruz
7/5	田谷正仁, 北米拠点長	1/8	Kathleen Kimura, SF-Osaka Sister City Association
7/12	田谷正仁, 北米拠点長	1/15	David Attwood, UC Berkeley
7/19	二村晶子, InfiniteBio	1/22	Raul Choudaha, UC Berkeley
7/26	Lecture Review	1/29	John Ino, UC SF

通じて配信していただきますが、今年は、一部の講師の方は大阪大学の講義室まで来てくださり、学生諸君の面前で直接講義をしていただく機会を得ました。また、拠点長に割り当てられた回では、初めての試みとして、実際に留学を終えて帰国した学生さん達数名に登壇してもらい、留学の動機、目的、準備、留学先での生活・勉学などについて経験談を話してもらいました。受講生からは留学が身近なものになったとの意見も多く聞かれました。新入生諸君が海外に目を向けるきっかけとなり、留学意欲の向上につながることを期待しています。

○2019年5月

・NAFSA 2019への参加：NAFSA (Association of International Educators) 2019が5月26日から31日にかけて、ワシントンD.C.で開催され、大阪大学国際交流センターの近藤佐知彦教授、国際部の担当職員2名と共に参加しました。世界各国の大学・教育関連機関が参加し、国際教育交流に関するセミナー、ワークショップ、ネットワーキング会合等が実施されました。期間中、本学は15の海外大学の担当者と学生交流や大学間協定に関する打合せを行うことができました。

○2019年6月

・北米拠点オフィスの移転：6月初旬、拠点オフィスをサンフランシスコ市街地からパークレーに移転しました。新オフィスは鉄道・BARTのDowntown Berkeley駅の真正面、UC Berkeleyのキャンパスからもほど近いビル内にあります(図1左の写真)。我々のオフィスは、UC BerkeleyのJ.L. Vujic教授が所長を務めるNuclear Science and Security Consortiumとルームシェアする形で一区画を使用しています(図1右の写真)。UC Berkeleyも先に述



図1 北米拠点オフィスの入っているビル外観(左)およびオフィス内部(右)

べたグローバルナレッジパートナーの有力候補校であり、オフィス移転を機に本学とUC Berkeleyとの幅広い連携に向けた活動を展開してゆきたいと考えています。

・UC San Diego, UC Davis 訪問：河原源太理事・副学長に帯同し、国際戦略部門の木村純子特任助教とともにUC San DiegoおよびUC Davisを訪問しました。まず、UC San Diegoでは、河原理事・副学長とUC San DiegoのS. A. Brown研究担当副学長との会談がもたれ、両校がグローバルナレッジパートナーであることの認識を共有しました。

つづいて、デービスに移動し大阪大学生物工学国際交流センター、キリンホールディングス(株)とUC Davisの学術交流協定の調印式に立ち会いました(図2)<sup>3)</sup>。これに先立ち、河原理事・副学長とUC DavisのJ. Regulska国際担当副学長との面談が行われ、お互いにグローバルナレッジパートナーとして、より幅広い分野での連携を図ってゆくことを話し合いました。

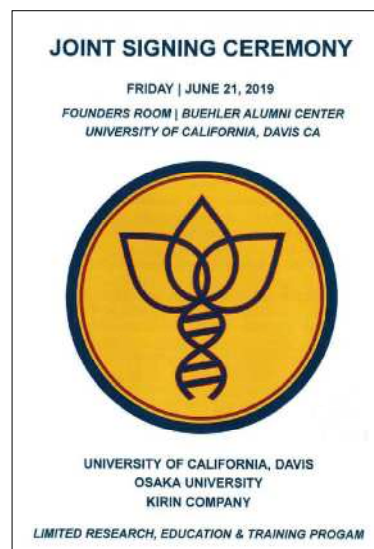
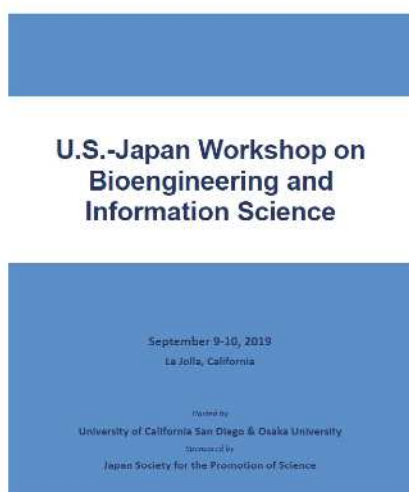


図2 UC Davisとの学術交流協定の調印式プログラム表紙

○2019年9月

・大阪大学—UC San Diegoワークショップの開催：6月の訪問を受けた具体的な取り組みとして、9月9日、10日の両日UC San Diegoでジョイントワークショップが開催されました(図3上図)。私は北米拠点での用務のため参加できませんでしたが、本学からはサイバーメディアセンターの下條真司教授らが参加しました(台風15号の影響を受け一部

の日本側出席者はインターネット参加)。このワークショップの目的の中に、“Osaka University’s new Global Knowledge Partner initiative that the two institutions have come to join hands to expand the scope of bilateral collaborations”と明記され(図3下図)、6月の面談の成果が早速表れました。



**Background and Objective**

With many research universities – including the largest engineering school in the State of California – and world-class research institutions, San Diego is well-positioned to compete globally in attracting some of the most talented engineers, scientists and technology professionals in the world. It is this talent pool that supports San Diego’s vibrant innovation economy anchored by established life science, wireless communications, clean technology and software industries. San Diego’s innovation economy is fueled by a collaborative culture and sophisticated support systems focused on commercializing research and growing entrepreneurial, knowledge-based companies.

Located in the center of San Diego’s innovation ecosystem, University of California San Diego (UC San Diego) is a flagship research-intensive institution in Southern California, with annual research funding exceeding \$1 billion. UC San Diego has developed institutional partnerships with top-tier research universities in Japan, including Chiba University, Kobe University, Kyoto University, Kyushu University, Osaka University, The University of Tokyo, University of Tsukuba, Yokohama City University, Keio University, Waseda University, among others. In recent years, UC San Diego has actively responded to its partners’ emergent requests to implement a broader set of international initiatives.

It is in this context and under Osaka University’s new “Global Knowledge Partner” initiative that the two institutions have come to join hands to expand the scope of bilateral collaborations, which has focused on information science, energy and entrepreneurship in the past, to include new topics in other fields such as bioengineering and cybersecurity. The objective of the bilateral workshop is to provide select faculty members from both sides of the Pacific Ocean with an open forum to share their recent research results broadly with the audience and discuss how we might enhance international collaborations in the years to come. The articulation of collaborative research projects and methodology, including funding opportunities, is an anticipated outcome of the workshop.

**Organizers**

<b>UC San Diego</b> Sandra Brown, PhD, Vice Chancellor for Research, Distinguished Professor of Psychology and Psychiatry	<b>Osaka University</b> Shinji Shimono, PhD, Professor and Director, Cybermedia Center
Kun Zhang, PhD, Professor and Chair of Bioengineering, Jacobs School of Engineering	Toru Fujiwara, PhD, Professor, Graduate School of Information Science and Technology
Mitsuko Waga, MSc, Director of International Outreach, Office of Research Affairs	Juniko Kimura, Assistant Professor, International Strategy / Center for Global Initiatives

図3 UC San Diego とのジョイントワークショップ 要旨集の表紙 (上) および趣旨説明 (下)

・理系大学院生サンフランシスコ研修：本学の理系大学院生の英語プレゼンテーションスキルの向上を目的として、工学研究科国際交流推進センターが世話部局となって、例年、UC Davis で夏休みの約

1ヶ月間語学研修を行っています。北米拠点ではこの研修の一環として、帰国前の学生諸君にサンフランシスコ近隣での研修を企画し提供しています。今年度は、9月17日～19日の日程で行われ、工学研究科、理学研究科、基礎工学研究科、情報科学研究科から合計18名の大学院生が参加しました。今回の研修では、University of San Francisco でのジョイントクラス、UC Berkeley の日系学生との交流、ベイエリアの企業訪問と講演会などを実施しました。

・大阪大学北米同窓会の開催：移転した北米拠点の新オフィスのお披露目も兼ねて、今年の北米同窓会を、9月21日にパークレーで開催しました。現役学生を含む46名の参加があり、同窓会総会につづき、河原理事・副学長による「大阪大学の近況ご報告」ならびに村井祐基氏 (JSPS 特別研究員、生命機能科学研究科所属の UC Berkeley 博士研究員) による「こころを科学するー最先端の脳科学で読み解くこころの仕組みー」の2題の講演が行われ、その後、食事を取りながら会員相互の懇親を深めました。

○2019年10月～2020年1月

・後期遠隔講義 (表1)：後期は、「Global Studies in English」と題し、比較的少人数の学部生を対象に英語によるインタラクティブな講義を提供しています。前期と同様に、講義は拠点オフィスからインターネット回線を通じて遠隔で行われますが、今年度は直接教室で行う講義も新しく取り入れました。すなわち、グローバルナレッジパートナー校あるいはその候補校である University of Groningen の A. Zwitter 教授、UC Davis の R.L. Rodriguez 教授、UC San Diego の L. Shi 博士、さらには University of California との学術交流強化を目的としたクロス・アポイントメント制度により来日された UC Santa Cruz の H. Fukurai 教授の講義は直接対面の講義形式で行っていただきました。随所に学生諸君との直接対話を取り入れた活気ある講義となりました。さらに、拠点オフィスの地の利を活かして、UC Berkeley からの講師を増やして3名としました。

○2019年11月

・大阪大学ー UC Davis ジョイントシンポジウムの開催：6月の生物工学国際交流センター、キリンホールディングス (株) と UC Davis の学術交流協定の締結を受け、キックオフシンポジウムが、11月14日に大阪大学で開催されました (図4)。また、



Kick-Off Symposium Launching of UC Davis-Osaka U Collaborative Projects @Icho Kaikan (Saita Campus)	
<b>1st Day</b>	
8:50	K. FUJYAMA and R. L. RODRIGUEZ Opening Remarks
9:00	Prof. KAWAHARA Genta, Vice-President, OU "Opening Address"
9:05	Prof. Ken KAPLAN, Chair of the Steering Committee for the UC Davis, graduate student exchange program "Cell Stress, Autophagy and Disease States"
<b>UC-Davis Osaka U Collaborative Projects (1)</b>	
9:30	Prof. MURANAKA Toshiya, Division of Science and Biotechnology, Graduate School of Engineering, OU "Redesign of Terpenoid Biosynthetic Pathway in Plant by Genome Editing"
10:00	Dr. Philipp ZERBE, Department of Plant Biology, UC Davis "Investigating Plant Terpene Diversity for Improving Human Health"
<b>Special Lecture</b>	
10:35	Dr. FUNABASHI Masatoshi, SONY Computer Science Laboratories, Inc. Tokyo, Japan "Synecoculture Experiments: the Achievements So Far and Challenges Ahead"
11:05	Photoseession
11:30	Lunch
<b>UC-Davis Osaka U Collaborative Projects (2)</b>	
12:40	Prof. FUKUSAKI Eitichiro, Division of Science and Biotechnology, Graduate School of Engineering, OU "Application of Metabolomics for High Resolution Phenotype Analysis"
13:10	Mr. OKAWA Hiroshi, Leader, Plant Biotechnology Project, KIRIN Holdings Company, Limited "Challenges of the Plant Biotechnology Project in Kirin"
13:40	Prof. KURISU Genji, Institute for Protein Research, OU "Structural Basis for Ferredoxin-dependency of Photosynthetic Electron Transport Chain"
14:10	Coffee Break
<b>UC-Davis Osaka U Collaborative Projects (3)</b>	
14:25	Prof. UMAKOSHI Hiroshi, Department of Materials Engineering Science, Graduate School of Engineering Science, OU "Membranomics" for "Bio-Inspired Chemical Engineering"
14:55	Prof. Tonya KUIHL, UC-Davis "Interfaces are Where Things Happen - from Biomimetics to Red Wine Fermentation"
<b>UC-Davis Osaka U Collaborative Projects (4)</b>	
15:25	Ms Ayako Onoue, Osaka University IURA "OU Internal and External Grants for International Joint Research Projects"
15:40	Closing Remarks
17:30	Party hosted by Osaka University

図4 UC Davis とのキックオフシンポジウムのプログラム

UC Davis との連携のさらなる広がりを図るべく、大阪大学基礎工学研究科と UC Davis との学術交流協定の調印式が11月15日に行われ<sup>4)</sup>、その後、交流推進メンバーによる分科会セミナーが行われました。これら一連のイベントは、生物工学国際交流センターの藤山和仁教授のグループと基礎工学研究科の馬越大教授のグループの主導の下で行われました。大阪大学と UC Davis との連携についてはこれら2つのグループの他にも教育研究の交流を推進しているグループもありますので、グローバルナレッジパートナーとして、より深い連携が築けるものと期待しています。

○2020年1月

・JUNBA シンポジウム2020への参加：サンフランシスコ・ベイエリア大学間連携ネットワーク(JUNBA)が企画したJUNBA シンポジウム「大学

を変えるファンドレイジング」が1月10日にサンフランシスコで開催されました。本学からは河原理事・副学長、共創機構渉外部門の正城敏博教授、永峯隆志特任准教授と私が参加しました。大学を取り巻く財政基盤が厳しさを増す中、大学のファンディングに関するアメリカの大学の戦略を学ぶとともに日本の大学における取組みの改善に向けて討論する機会を得ました。

#### 4. おわりに

2019年4月に拠点長を仰せつかって約1年が経過しました。ほとんど何もわからないまま、関係する教職員の皆さんや現地スタッフに助けられながら、手探り状態で活動を行ってきたというのが実感です。拠点長になってもうひとつ実感したことがあります。それは、アメリカにある北米拠点オフィスの存在を、学生さんだけでなく先生方にも意外と知られていないということです。これまで北米拠点のミッションについて述べましたが、これらに加えて、私に与えられたミッションとして、大阪大学北米拠点の認知度を上げ、一人でも多くの方に北米拠点を活用いただくとともに、アメリカに行かれた際には、拠点まで足を運んでいただくようにすることが挙げられます。まずは、本紙面を利用させていただいてこのことをお願いする次第です。なお、北米拠点オフィスに現在常駐しているのは、現地スタッフが一人だけです。訪問いただく際には、下記まで予めご連絡いただきますようお願いいたします。

E-mail: info.sf@overseas.osaka-u.ac.jp

#### 参考文献 / 参考 URL

- 1) 河原源太, 生産と技術, 70巻, 3号, 104-106, 2018
- 2) <https://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/action/gkp>
- 3) <https://biology.ucdavis.edu/news/kirin-osaka-university-uc-davis-exchange-program>
- 4) [https://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/whats-new/2019/12/post\\_23.html](https://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/whats-new/2019/12/post_23.html)